

研究成果の刊行に関する一覧表

【平成26年（2014）】

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
新井正美	癌診療における遺伝学的アプローチの意義	新井正美 編著	癌の遺伝医療	南江堂	東京	2015	28-33
新井正美	遺伝性乳癌卵巣癌 1. 概要	新井正美 編著	癌の遺伝医療	南江堂	東京	2015	48-53
新井正美	遺伝性乳癌卵巣癌 4. 病理学的特徴 a. 乳癌	新井正美 編著	癌の遺伝医療	南江堂	東京	2015	69-74

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
新井正美	遺伝性腫瘍診療の現状	医学のあゆみ	250	353-358	2014
新井正美、岩瀬拓 士、高澤豊、竹島 信宏	わが国における遺伝性 乳癌卵巣癌の診療上の 課題と最近の動向	癌と化学療法	41	1333-1339	2014
中村清吾	我が国における遺伝性 乳がん卵巣がん(HBO C)の現状と今後の対策	日本遺伝カウ ンセリング学 会誌	36	29-31	2015
新井正美、芦原有 美、喜多瑞穂他	がん専門病院における 遺伝性乳がん卵巣がん への取り組み	日本遺伝カウ ンセリング学 会誌	36	43-47	2015

【平成27年（2015）】

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Mika Shigehiro, Mizuho Kita, Masami Arai, et al.	Study on the psychosocial aspects of risk-reducing salpingo-oophorectomy(RRSO) in <i>BRCA1/2</i> mutation carriers in Japan: a preliminary report.	JJCO	doi: 10.1093/jjco/hyv190	1-6	2015
Akiko Abe, Kimihiko Sakamoto, Masami Arai, et al.	The presentation of an asymptomatic ovarian carcinosarcoma caught by <i>BRCA1</i> mutation surveillance program.	Int Canc Conf J	3 issue4	242-246	2014
新井正美, 芦原有美, 喜多瑞穂, 他	がん専門病院における遺伝性乳がん卵巣がんへの取り組み	Jpn J Genet Counsel	36	43-47	2015
新井正美, 谷口智子, 岩瀬拓士, 他	HBOCに対する診療の流れ	産科と婦人科	6 (19)	611-617	2015
谷口智子, 新井正美, 喜多瑞穂, 他	<i>BRCA1/2</i> 変異を確認され、当院で卵巣・卵管がんを治療した10例の臨床経過について	家族性腫瘍	15 (2)	53-57	2015
新井正美	がんの遺伝医療と遺伝カウンセリング	医学のあゆみ	254 (9)	642-647	2015
叶典子, 五味直哉, 新井正美, 他	術後サーベイランスで乳房超音波が有用であった遺伝性乳癌の1例	日臨外会誌	76 (12)	63-67	2015
平沢 晃, 増田健太, 青木大輔	Tumor syndrome ; 遺伝性乳癌卵巣癌	臨床画像	31 (10)	220-221	2015
平沢 晃, 増田健太, 青木大輔	<i>BRCA1/2</i> 遺伝子変異保持者に対するリスク低減卵管卵巣摘出術とサーベイランス; 遺伝性乳癌卵巣癌のマネージメント	産科と婦人科	82 (6)	639-643	2015
平沢 晃, 増田健太, 青木大輔	遺伝性乳癌卵巣癌の遺伝子検査	産科と婦人科	82 (Sup)	202-205	2015

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
新井正美 中村清吾 青木大輔 櫻井晃洋 他		がん対策推進 総合研究事業 「わが国にお ける遺伝性乳 癌卵巣癌の臨 床遺伝学的特 徴の解明と遺 伝子情報を用 いた生命予後 の改善に関す る研究」研究 班	「遺伝性乳癌卵 巣癌症候群診 療の手引き」	金原出版	東京	2017刊 行予定	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Masuda K, Hirasawa A, Irie-Kunitomi H, Akahane T, Ueki A, Kobayashi Y, Yamagami W, Nomura H, Kataoka F, Tominaga T, Banno K, Susumu N, Aoki D.	Clinical utility of a self-administered questionnaire for assessment of hereditary gynecologic cancer.	Jpn J Clin Oncol	In press	In press (https://doi.org/10.1093/jjco/hyx019)	2017
Tozaki M	Ductal carcinoma in situ detected during prospective MR imaging screening of a woman with a BRCA2 mutation: The first case report in Japan.	Magn Reson Med Sci.	In press		2017
新井正美, 大住省三, 中村慎吾.	日本HBOCコンソーシアムの活動状況	臨床病理レビュー	特集157号	9-17	2016
新井正美.	婦人科腫瘍の遺伝診療：我が国におけるHBOCデータベース整備への取り組み	産婦人科の実際	65(6)	695-700	2016
平沢 晃, 青木大輔.	遺伝性乳がん卵巣がん；遺伝性腫瘍-実地臨床での対応を目指して	日本医師会雑誌	145(4)	705-709	2016
平沢 晃,青木大輔.	バイオリソースを用いた研究基盤整備に関する国内外の動き；婦人科がん治療の基軸.	産科と婦人科	83(1)	13-19	2016